

平成25年度 民家野外博物館「川崎市立日本民家園」 目標と評価シート

■日本民家園の使命

日本民家園は、市民の文化・学術・教育の向上に寄与するため、つぎのを行います

1. 主に江戸時代の古民家を移築復原し、良好な状態で後世に伝えます
2. 古民家・伝統的生活文化にかかわる資料を調査収集し、展示・普及活動を行います
3. 日本を代表する民家博物館として、国内外に情報を発信します
4. 生涯学習やくつろぎの場として、地域に親しまれ必要とされる博物館をめざします

※本文各項の「対象使命」欄で太字になっているものが、業務に該当する使命。

※分担欄の「市」は川崎市、「指」は指定管理業者の事業。「市・指」は共同で行うことを示す。

■外部評価の目的

(2009.3日本民家園協議会資料より抜粋)

1. 日本民家園の使命を果たすために、園の充実発展に繋がる改善案を探す
2. 園の独りよがりな運営にならないよう、外部の方(利用者・有識者など)の客観的・率直・公平・多様な意見を聞く
3. 評価項目(年度当初案と結果)を公表することにより、広く日本民家園の業務を周知するとともに、実行性を高める
4. 評価を毎年継続実施する中で、前年度の評価や改善点を次年度以降に繋げる
5. 1～4を通じ、職員・協力者(市民)・関係業者のモチベーションを上げる

■評価

つぎの3段階とする。

A: 目標を充分達成し成果を上げている

B: 目標を概ね達成している

C: 目標を達成しておらず改善が必要である

■添付資料

1. 古民家保存修理工事事業計画
2. 民俗部門整備計画
3. 民俗部門展示・出版計画
4. 民家園叢書一覧及び計画
5. 大岡文庫関係出版物一覧及び計画
6. 総合防災設備整備計画
7. 事業報告

■目次

1. 民家野外博物館としての研究・展示・普及活動

(1) 文化財建造物・民具などの保存・整理・調査研究と補修の推進

(2) 展示及び教育普及活動の充実

2. 民家野外博物館としての運営・管理活動

(1) ミュージアム・マネジメントの確立

(2) 広報活動の強化と観光客の積極的誘致

(3) 利用者の利便性・快適性・安全性の向上

【収集・保存・整理】【調査研究】【情報発信】

【展示】【教育普及】

【総務】

【情報発信】

【管理】

1. 民家野外博物館としての研究・展示・普及活動

(1) 文化財建造物・民具などの保存・整理・調査研究と補修の推進

対象使命	1. 主に江戸時代の古民家を移築復原し、良好な状態で後世に伝えます。 2. 古民家・伝統的生活文化にかかわる資料を調査収集し、展示・普及活動を行います。	3. 日本を代表する民家博物館として、国内外に情報を発信します。 4. 生涯学習やくつろぎの場として、地域に親しまれ必要とされる博物館をめざします。
-------------	---	---

現状：東日本における江戸時代の古民家を中心に移築復原した。長期計画を立て、緊急度の高いものから補修工事を実施している(資料1)。日常的な維持管理としては、燻煙と清掃、巡回警備を実施している。収集資料については、民具の整理を企画展示と連動して行い、目録を刊行(資料2、3)、建築関連資料についても大岡實博士文庫の整理を進め、目録や民家園叢書の刊行を行っている(資料4、5)。また、総合防災施設設備事業・耐震事業(資料6)も進行中である。

実施目標	中期目標(3年、H25まで)	分担	H25年度計画	H25年度事業実績	指標	今後の課題	
①文化財建造物維持管理の推進	屋根補修工事推進。 その他補修工実施。 保存修理における伝統技術継承。 燻煙と清掃の定期的実施。	市・指	岩澤家・蚕影山屋根工事。水車小屋補修工事。各種軽易工事。文化財建造物及び園内環境を良好な状況で維持するため、専門的業務内容を複数名で検証、遂行できる体制作り準備。	水車小屋補修工事。各種軽易工事。文化財建造物及び園内環境を良好な状況で維持するため、専門的業務内容を複数名で検証、遂行できる体制作り実施。	計画に対する達成度	施工業者の確保。	
②収蔵資料整理の推進	企画展示に合わせた各民家収蔵資料整理。 大岡實博士文庫資料整理。	市	江向家・山田家収蔵資料整理。 大岡資料整理。	江向家・山田家資料整理実施。 大岡資料整理実施。	計画に対する達成度	資料整理後の維持管理。 収蔵スペースの確保。	
③総合的防災対応体制の整備	防災工事実施(消火設備・自火報)。 耐震診断6件補強設計4件。 補強工事2件。 関連部署との密接な連携。	市	防災工事(自火報)。 鈴木家耐震工事。 民家園の耐震基本方針を策定。 荷重を減らすため屋根裏収納民具の移動検討。	防災工事(自火報・消火設備)。 鈴木家耐震工事着手。 民家園の耐震基本方針を策定。荷重を減らすため屋根裏収納民具の移動実施。	計画に対する達成度	施工業者の不足。 耐震補強年度計画の見直し。	
④調査・収集・研究の推進	所在地民俗調査。 大岡資料整理。 野外博物館団体・研究者等との交流推進。(註1)	市	江向家聞き取り調査実施。 木小屋調査まとめ。 大岡資料整理。 野外博物館団体・研究者との交流。	江向家聞き取り調査実施。 木小屋聞き取り調査まとめ。 水車小屋聞き取り調査テープ起こし。 大岡資料調査研究実施。 全国民家集落協議会の例会に出席。	計画に対する達成度	話者の高齢化と世代交代に対応する迅速な調査。	
⑤学芸活動の成果公表	民俗資料目録・大岡資料目録・民家園叢書の刊行。	市	江向家資料目録刊行。 大岡展資料集刊行。 民家園叢書編集準備。	大岡實展展示図録刊行。 江向家資料目録(調査報告含む)刊行。 叢書編集準備。 民家園だよりで調査結果公表。	計画に対する達成度	目録作成後の継続的データ管理。	
外部評価 評定意見	・市のルールに基づく工事発注という制約や、全国的な入札不調の傾向等、民家園の責めに帰すべき事情以外の要因もあるとはいえ、文化財建造物の補修工事や耐震補強工事等の遅れは、民家園の根本的な目的である建造物の適切な維持保存に懸念を抱かせる。特殊な材料を用いる特殊な工事であることに鑑み、的確に工事が実施できるよう、工事計画・発注時期・方法の見直し、関係方面への働きかけ等も含めた検討を求めたい。 ・資料の整理・調査研究は着実に進捗し、新たに企画展図録も刊行されるなど、大いに評価できる。						B / B

註1

長期目標として「民家園が民家保存継承に関するソフト・ハードの情報拠点として情報発信が可能となるよう、野外博物館団体・建築技能者・研究者・行政機関・民家所有者・民家愛好家などの支援・協力を得て情報拠点としてのネットワーク形成に寄与する」ことが挙げられる。

(2) 展示及び教育普及活動の充実

対象使命	1. 主に江戸時代の古民家を移築復原し、良好な状態で後世に伝えます。 2. 古民家・伝統的生活文化にかかわる資料を調査収集し、展示・普及活動を行います。		3. 日本を代表する民家博物館として、国内外に情報を発信します。 4. 生涯学習やつろぎの場として、地域に親しまれ必要とされる博物館をめざします。			
<p>現状：古民家を野外展示するとともに、民家の構造や暮らしについては常設展示室で、各古民家の暮らしについては企画展示室で順に紹介している(資料2、3)。古民家内では各地域の民具のほか、年中行事の展示を行っている。このほか、民家の補修工事や囲炉裏の火焚きなども展示の一環としてとらえ、作業風景が見られるよう工夫している。普及活動としては、学習講座・体験講座・お茶会・昔話等を実施しているほか(資料7、8)、学芸員実習や小学校の体験学習の受入も行っている。炉端の会、民具製作技術保存会は民家園の教育普及活動を支え、協力者会議を開催して事業運営の改善を進めている。</p>						
実施目標	中期目標(3年、H25まで)	分担	H25年度計画	H25年度事業実績	指標	今後の課題
①建造物等資料の公開展示の仕方の工夫	企画展示に合わせ民家内展示整備。 生活についての展示検討。 説明板充実。	市	江向家内民具再配置。 各棟解説板(間取り図含む)の継続設置。	江向家内展示資料配置換え。 間取図入り解説板設置。 民具資料の盗難対策一部実施。 聞き取り調査に基づき、音声ガイド原稿作成。	計画に対する達成度	展示整備後の継続的な維持管理。 民具資料等の盗難対策。
②企画展示の充実	各古民家及び建築用具をテーマとした企画展示開催。	市	大岡資料展、江向家展開催。	企画展示「建築史家・大岡實の建築」 「五箇山 -重要文化財・旧江向家住宅-」開催。	企画展示室入室者数	企画展示室の本館への移動。
③各種講座の充実	古民家・伝統的生活文化に対する理解を深めるための市民向け講座の開催。	市	企画展連動講座、建築の見方に関する講座、各種体験講座の開催。 受講者ニーズ把握。	企画展関連講座、建築の見方講座、民具製作体験講座実施。 アンケートを実施。	受講者アンケート満足度(註2)	ボランティア以外の一般受講者の確保。
④建物解説・ガイドの充実	解説・ガイド活動の充実。	市	解説補助パネル充実。 ガイド向け研修検討。 園内ガイド実施方法再検討。	民家解説・展示解説・園内ガイド・団体ガイド(日・英)実施。 解説補助パネル作成。	解説・ガイド参加者数(註3)	ガイド向け研修検討。 園内ガイド実施方法再検討。
⑤催し物の充実	民家の魅力を引き出し、再来園のきっかけとなる催物の開催。	市・指	夜間公開・お茶会・歌舞伎・人形浄瑠璃・民具製作実演・昔話・月見・正月行事等の開催。 旧所在地交流事業(白川郷・五箇山)実施。	夜間公開・人形浄瑠璃・歌舞伎・お茶会・昔話・月見・正月行事・民具製作実演・旧所在地交流事業(白川郷・五箇山)・古民家カフェ・ベーゴマ大会・大和なでしこ入門(茶道・香道・着付)実施。	参加者数(註4) 無料入園日入園者数	体験型事業の拡充。 夜間公開日程検討。 指定管理者自主事業を年間を通して実施。
⑥図書コーナー設置	利用者向け民家・民俗関連の図書コーナー設置。	市	図書館との連携等による蔵書充実、運営方法検証。	市立図書館の廃棄図書利用による蔵書の充実。図書コーナー当番日誌にて利用状況を把握。安定性のある書架を購入。	計画に対する達成度	蔵書リストの整備。 新規蔵書購入継続。 図書コーナーの周知。

⑦伝統工芸館の充実活性化	藍染め体験の利用促進。 講座・展示の改善。 施設設備の補修・整備。	市・指	民活効果による藍染め体験・展示のPR強化。	工芸館スタッフ配置増。 スタッフ育成を目的とした技術研修実施。 内装補修。 多摩区民祭で工芸館商品販売。	体験者数	学校向け体験講座のPR。 外国人向け・子ども向け簡易リーフレットの作製。
⑧学校との連携の強化	体験学習・社会科見学の利用促進。 中・高・大学の利用促進。	市	体験学習・社会科見学・博物館実習の受入。 体験学習申込手続き改善。	体験学習・社会科見学・博物館実習の受入。 体験学習申込手続き改善。 学芸会への民具貸し出し。	見学校数、 体験実施校数	学校用ワークブックの充実。
⑨市民協働による事業の展開と民家園改善の推進	民技会の活動支援。 催し物開催にともなう市民団体との連携強化。 協力者会議、協議会の開催による運営の改善推進。	市・指	民技会の活動支援。 市民団体協力による催し物実施。 協力者会議・協議会の開催。	40周年記念講演会開催協力等、民技会活動支援。 市民団体協力による催し物実施(昔話・お茶会・芸能・大工入門等)。 協力者会議・協議会の開催。	計画に対する達成度	新しい市民団体の発掘。
⑩ボランティア団体の活動支援と育成	学習会等研修機会の提供。 ガイド等諸活動の支援。 自主性・多様性を持った活動の促進。	市	学習会等研修機会の提供。 ガイド等諸活動の支援。 ボランティア講座開催。 自主的運営の促進。 佐地家公開検討。	学習会等研修機会の提供。 ガイド等諸活動の支援。 ボランティア講座開催。 新規チーム活動立ち上げ(草バッタ)。 広報チームによるHP立ち上げ。	床上公開棟数・利用者数、 炉端活動延人数	炉端の会20周年事業への準備。

外部評価 評定意見	<ul style="list-style-type: none"> ・展示・講座・催し物が年間を通して幅広く実施されているほか、指定管理者の企画による催し物が追加されるなど、大変充実しており、参加者の評価も非常に高い。民家園にふさわしい魅力的な行事が今後さらに実施されていくよう期待する。 ・学校団体をはじめとする利用者が、民家のみならずそこで営まれた昔の生活を学び、体験できる場として民家園が機能するよう、さらなる取り組みを求める。 ・ボランティア活動に参加する市民等に、学びとその成果を示す場を提供するとともに、こうした市民との協働により、より多くの利用者・市民の学びにつなげる取り組みを積極的に行っている点は、大いに評価される。 	A / A
--------------	---	-------------

- 註2 ①民家園講座「講座の内容はどうか?」の質問で、「非常に良かった」「良かった」「普通」「あまり良くなかった」の4項目のうち、「非常に良かった」「良かった」と回答した人の割合。(P8統計参照)
 ②体験講座「参加してどうか?」の質問で、「面白かった」「まあまあ」「つまらなかった」の3項目のうち、「面白かった」と回答した人の割合。(P8統計参照)
- 註3 民家解説・展示解説・園内ガイド・団体ガイド(英語含む)利用者数。(P8統計参照)
- 註4 事業報告(社会教育要覧)の教育普及事業一覧から講座・園内解説・学校体験・床上公開・民家園まつり・多摩区民祭を除いた事業の参加者数。(P8統計参照)

2. 民家野外博物館としての運営・管理活動

(1) ミュージアム・マネジメントの確立

対象使命	1. 主に江戸時代の古民家を移築復原し、良好な状態で後世に伝えます。 2. 古民家・伝統的生活文化にかかわる資料を調査収集し、展示・普及活動を行います。	3. 日本を代表する民家博物館として、国内外に情報を発信します。 4. 生涯学習やくつろぎの場として、地域に親しまれ必要とされる博物館をめざします。
------	---	---

現状: アンケートで来園者ニーズを把握するとともに、事業評価を実施し、運営の見直しを行っている。危機管理については、防災訓練を実施、危機管理マニュアルも一部作成している。人的な資質向上をめざして各種研修を実施している。また、年間パスポートの販売等、リピーター確保のため工夫を重ねている。なお平成25年度4月より、維持管理業務と広報業務(一部)は指定管理者へ移行し、統括、学芸業務は市直営で継続する。

実施目標	中期目標(3年、H25まで)	分担	H25年度計画	H25年度事業実績	指標	今後の課題
①来園者ニーズの把握	アンケートの継続実施と分析結果の活用。 回答の公表方法の確立。	市・指	一般・炉端アンケートの実施分析。アンケート全般について民間視点で検証。 回答として「よくある質問」を増補。	一般・炉端アンケート実施。指定管理者全体でアンケート調査を3回実施。民家園アンケートの集計実施。分析結果を協力者会議にて検討。「よくある質問」を増補。	来園者アンケート満足度(註5)	常設アンケートの内容・設置場所・設置方法見直し・検討。 アンケート回収BOXの見直し。
②外部評価の継続と活用	事業評価制度の活用。	市・指	評価制度の継続活用。 市の次期総合計画への民家園中期計画反映。	外部評価の継続実施。H24年度評定をH25年度事業に一部反映。市の次期総合計画案検討の場に民家園中期計画の主要部を申告。	計画に対する達成度	新市長による総合計画に民家園中期計画の主要部記載検討。
③効率的な運営と生田緑地の施設運営管理一体化	一体化による管理方法の確立。 指定管理移行時の業務の質確保。 日本民家園の統一性の維持。	市・指	新体制実施に伴う課題の抽出と解決。	全体会議・モニタリングシート・3館整備事務所長会議にて随時課題を抽出、検証。管理班・学芸班で業務引継・情報共有・課題の確認。収納事務・日報・月報の改善。	計画に対する達成度	民間のノウハウを活かした広報・自主事業・市民協働の本格推進。指定管理者制度を活かした事業の発展。管理業務の効率化と質の向上。
④危機管理体制の整備	危機管理マニュアルの整備。 防災(火災・地震)訓練の内容充実と継続的实施。	市・指	防火管理者の移行に伴い、防災体制を早急に確立。 全体訓練を複数回実施。	訓練3回実施。 文化財防火デーに「旧太田家復旧工事記録映像」上映会実施。	計画に対する達成度	通常訓練に加え、本館火災訓練、そば屋・団子屋の防災訓練等、範囲を限定した訓練の実施。 防災設備の十分な運用。
⑤経済的な自立度	入園料など収入確保による安定的運営(目標指標 25%)。(註6)	市・指	目標36%。(昨年度は科学館オープン効果で35.8%。今年度は指定管理導入の連携割引効果、広報活動充実に期待。なお指定管理導入による経費枠組み変更のため、今後継続比較可能な指標の算出方法を検討。)	指標算出方法を指定管理導入後の実状に併せ改訂。 15.4%(旧算出方法では28.0%に該当) ※H24年度は新算出方法では19.7%、旧算出方法では35.8%。	歳出に占める歳入の割合(註7)	入園料収入減の打開策検討。
⑥組織と職員の資質向上	園内の情報共有化。 専門職の長期確保。(註8) 職員の資質向上。	市・指	市と指定管理者との情報共有化。 専門性の高い職員の継続的確保策検討。 開園50周年に向け民俗部門の強化策検討。	学芸班と管理班で書類閲覧ルート整備、来年度事業計画検討会議実施。開園50周年に向け民俗部門の強化を図るため、専門職(任期付学芸員)の採用選考実施。	計画に対する達成度	学芸員(民俗)の継続的な確保策を全庁的組織にて検討。 専門職(民俗・建築)の長期確保。
⑦来園者確保	H23年度 100,000人。 H24年度 90,000人。 H25年度 90,000人。 (工事による部分閉園のため)	市・指	生田緑地内複数館割引、駐車場割引等利用者確保策実施。 藤子ミュージアムとの回遊性を高める施策実施。	複数館割引・駐車場割引・スタンプラリー等実施。前年比、入園者数11%減(科学館効果消失)、年パス61%増(10-11月強化キャンペーン中利用者374人増、購入者404人増)。	入園者数、ハズボト売上枚数・入園者数(註9)	新たな層の開拓や、雨季・冬季に魅力ある事業を実施するなど、年間を通した有料入園者の確保。

外部評価 評定意見	<ul style="list-style-type: none"> ・工事による部分閉園や大雪、隣接する施設の新設効果の落ち着きにもかかわらず、目標を上回る来園者があり、来園者アンケートでも高評価を得ているのは、リピーター獲得に向けた取り組みやニーズ把握の努力が奏功したものと評価できる。 ・来園者数やそれに伴う収入も重要であるが、文化財を保護し民家の魅力を伝える民家園の価値は、それでは計りきれない誇るべき意義を有している。専門職採用された学芸員の着任を受けて、一層の活動の充実が期待される。 ・総合防災工事の進捗状況を踏まえ、危機管理体制の見直しと古民家や来園者の安全について検討を図ること。 	A / B
--------------	--	-------------

- 註5 「全体の印象は？」の質問で、「よかった」「つまらない」「どちらとも言えない」の3項目のうち、「よかった」と回答した人の割合。(P8統計参照)
- 註6 「民家園の魅力を高める」ことを追求するのが入園者を増やす一番の方法であり、協力者会議・協議会などで議論を重ね実現化を模索している。
- 註7 H25年度以降⇒歳出＝経常経費の決算額(指定管理料・人件費含む、工事など特殊経費を除く)、歳入＝入園料・受講料・物販収入など(国庫補助などを除く)
H24年度まで⇒歳出＝経常経費の決算額(修理工事・総合防災など特殊経費、人件費を除く)、歳入＝入園料・受講料・物販収入など(国庫補助などを除く)
- 註8 専門職の配置のあり方の検討が必須である。
- 註9 入園者数は指標の一つであるが、入園者増だけで良いのではなく、熱心な入園者を評価する指標を検討する。

(2) 広報活動の強化と観光客の積極的誘致

対象使命	1. 主に江戸時代の古民家を移築復原し、良好な状態で後世に伝えます。 2. 古民家・伝統的生活文化にかかわる資料を調査収集し、展示・普及活動を行います。	3. 日本を代表する民家博物館として、国内外に情報を発信します。 4. 生涯学習やくつろぎの場として、地域に親しまれ必要とされる博物館をめざします。
-------------	---	---

現状： インターネット(ホームページ・フェイスブックなど)による広報、地域団体・企業と連携した広報を展開している。また外国人誘致にも力を入れ、リーフレット・ホームページの多言語化、内容の拡充を進めている。

実施目標	中期目標(3年、H25まで)	分担	H25年度計画	H25年度事業実績	指標	今後の課題
①民家園の魅力発信	広報予算費の確保。 インターネットを利用した情報発信の推進。	市・指	民活効果と一体化による効果的な情報発信。新HPの更新改訂(アクセス数目標12万件)。CM放映。市内への周知。	アクセス数日本語134,900件。 日本語HPの改訂。アゼリアビジョンCM放映。アゼリア広報展示。小田急バスポスター掲出。個々の催事の単独チラシ・ポスター作成。	HPアクセス数	民家園HPのリニューアルと定期更新。民間のノウハウを活用した広報活動の充実。
②外国人向け広報とサービスの充実	簡易版外国語リーフレットのHPアップ。 羽田国際空港へのPR。 英語ガイド充実。	市・指	ドイツ語リーフレット作成。 簡易版外国語リーフレットHPアップ(残り全部)。川崎市HPとの連携。 羽田空港へのPR。 海外の民家博物館との連携。英語ガイドとの連携。	ドイツ語リーフレット作成。簡易版外国語リーフレット8か国語全てHPアップ。 リーフレットを日本政府観光局パリ事務所・羽田空港・各大使館に配布。外国人向け冊子に記事掲載、工芸館無料体験チケット添付。	外国人入園者数 英語版HPアクセス数	券売スタッフ、工芸館スタッフの英語研修実施。 外国人向けコミュニティへのアプローチ。 海外の民家博物館HPにリンク掲載。 外国語音声ガイド導入検討。
③観光客の積極的誘致	経済局商業観光課・観光協会との連携。 宿泊施設への広報物送付。 観光業界へのアプローチ。	市・指	経済労働局商業観光課・観光協会との連携。 観光客誘致検討。	経済労働局商業観光課・観光協会と連携、広報・入園割引等で協力。 区民祭等で関係機関と連携、入園無料・割引や広報等で協力。	計画に対する達成度	観光業界へのアプローチ。
④生田緑地の情報発信	生田緑地共通広報の継続。 指定管理体制移行時の情報発信のしくみ作りと効果的運用。	市・指	東口ビジターセンターでの生田緑地共通広報強化。 生田緑地HP支援。 区民祭等での関係機関との連携。	広報担当者会議実施。映画教室・CMコンテスト応募等実施。生田緑地HP・リーフレット・ブログ・フェイスブック・ライン等に情報提供、更新実施。	計画に対する達成度	MCCフォトシステムを活用して、緑地全体の情報共有。(花の開花情報等)

外部評価 評定意見	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者のノウハウを活用した広報活動が実を結び、各種媒体に民家園がとり上げられる機会が増加している。民家園を周知し来園につなげるようさらに努めてもらいたい。 学校や関連機関・団体との連携協力を緊密にし、様々なルートを広報に活用することが望まれる。 アジア諸国を中心に訪日外国人が増加し、年間1000万人を超える状況の中で、リーフレットの多言語化を継続的に推進している点は評価できる。こうした広報資料を活用するためにも、園ホームページのこまめな情報更新や紹介動画の掲載、外国人に影響のある観光ガイドブックや旅行者向け案内所への働きかけ等の取り組みを求めたい。 	B / B
----------------------	---	-------------

(3) 利用者の利便性・快適性・安全性の向上

対象使命	1. 主に江戸時代の古民家を移築復原し、良好な状態で後世に伝えます。 2. 古民家・伝統的生活文化にかかわる資料を調査収集し、展示・普及活動を行います。	3. 日本を代表する民家博物館として、国内外に情報を発信します。 4. 生涯学習やくつろぎの場として、地域に親しまれ必要とされる博物館をめざします。
-------------	--	--

現状： 来園者サービス施設として、救護室や授乳スペース等を整備し、休憩スペースの確保を進めている。オリジナルグッズの開発・販売や窓口業務改善に努めている。敷地内の環境は展示の一環として整備を進め、民家園に相応しい植栽や案内板の補修・増設、バリアフリー拡充等を行っている。また24時間人的警備により来園者と文化財の安全確保に努めている。

実施目標	中期目標(3年、H25まで)	分担	H25年度計画	H25年度事業実績	指標	今後の課題
①来園者サービス施設の整備・オリジナルグッズの開発	オリジナルグッズ制作と販売促進。 休憩スペースの確保検討。	市・指	オリジナルグッズ開発と販売促進。	新作10点を製作販売(うちわ・Tシャツ・手ぬぐい・豆ぞうりストラップ等)。正門ディスプレイ変更等により昨年比34.9%売上増。古民家床上食事場所スペース提供(5棟増)。	計画に対する達成度	ミュージアムショップリニューアル。 旧所在地の物品販売。民技会の作品委託販売。
②敷地内環境の整備	植栽管理。 園内案内版の作成・修繕。	市・指	野外博物館の特殊性に配慮した植栽管理の実施。 園内案内版の作成・修繕。	案内板修繕。新規植樹。台風大雪被害を最小限にするため事前準備実施。こもわら・加工土による園路改善。正門休憩所の喫煙場所整備(建仁寺垣設置)。	計画に対する達成度	英語表記拡充。古民家に合わせた花と樹木の充実。 雨天時、降雪時の悪路対策。警備の巡回と連携した危険箇所の速やかなチェック。
③バリアフリーの推進	敷居スロープの継続的制作。 園路手すり整備検討。	市・指	敷居スロープの仕様検討。 園路手すりの仕様と設置場所の検討。	警備による敷居スロープ設置訓練実施。 スロープは各民家に合わせた特注仕様をやめ、携行式を購入(菅原・工藤・清宮)。	計画に対する達成度	携行式スロープの使い勝手を検証。園路てすりを検討。
④窓口(券売・インフォメーション)業務の質向上	電話対応等の向上。 研修(接客・園概要)実施。	指	窓口業務の質向上。 それに向けた研修の実施。 ミーティング充実。	接客研修年3回実施。迅速丁寧なクレーム対応。窓口のオリジナル制服作成。受付・電話対応の改善。	計画に対する達成度	園内で学芸班による学習会を定期的に開催し、知識を深め、サービス向上に努める。 企画展の内部説明会実施。
⑤来園者の安全確保と文化財の警備	昼夜巡回警備による来園者の安全確保や文化財建造物・民具資料等の保護。	指	確実な業務遂行。 それに向けた研修と定期的な連絡会議の実施。	民具盗難事件を受け、巡回コース・体制の見直し。休園日の定期的防災訓練。雨天時雨漏り対策強化。日報に修繕箇所等詳細を画像添付。アイデアノート実施。	計画に対する達成度	民具資料等の盗難対策。 園路の安全確保(転倒・落雪)。

外部評価 評定意見	・園内景観に配慮した施設整備やバリアフリー化の検討、ミュージアムグッズの充実や、スタッフの接客改善等、すべての来園者に気持ちよく利用し、良い思い出を持ち帰ってもらえるような努力がなされており、特にソフト面での改善は評価できる。 ・指定管理者制度の導入のほか、盗難事件の発生や大雪による積雪・落雪等これまでの想定になかった事態への備えを行うとともに、日常業務の中で異常の速やかな発見、情報伝達と適切な対応措置等により、来園者の安全安心の確保、文化財の保全に万全を期すこと。	A / A
----------------------	--	-------------

■各種統計 ※事業評価シート項目順

		平成25年度	平成24年度	平成23年度
1	企画展示室(山下家2F)入室者数 ※センサー数÷2	26,159人	29,214人	24,777人
2	企画展示解説回数(人数)	9回(85人)	10回(65人)	10回(42人)
3	受講者アンケートによる満足度	①64%②91%	①—%②97%	①95%②93%
4	解説・ガイド回数(参加者数)	407回(4,417人)	450回(4,600人)	429回(4,839人)
	内訳1)民家解説	10回(201人)	9回(300人)	10回(168人)
	内訳2)園内ガイド	228回(1,678人)	300回(1,564人)	292回(1,874人)
	内訳3)団体ガイド ※英語ガイド含む	169回(2,538人)	141回(2,877人)	127回(2,797人)
5	催し物参加者数	10,860人	9,487人	8,318人
6	無料入園日入園者数	9,654人	10,782人	6,195人
7	ハンカチ染め他体験人数	2,217人	1,897人	1,640人
8	見学学校数 ※幼～高校、学校体験除く	102校	115校	107校
9	学校体験実施校数	74校(市立69、市内私立0、市外5)	75校(市立68、市内私立0、市外7)	83校(市立74、市内私立1、市外8)
10	床上公開棟数	1,109棟	1,028棟	1,060棟
11	床上公開利用者人数 ※団体除く	118,055人	130,372人	153,877人
12	床上公開利用団体数	651団体	647団体	773団体
13	炉端活動延人数 ※炉端の会	4,266人	3,985人	4,347人
14	来園者アンケート満足度	96.7%	95.0%	95.6%
15	歳出に対する歳入の割合 ※()内は特殊経費・国庫補助金を含む場合(註6)	15.4%(17.1%)	[25年度からの計算式]19.7%(22.8%) [24年度までの計算式]35.8%(26.5%)	32.1%(36.8%)
16	総入園者数	109,710人	123,453人	106,323人
17	年間パスポート売上枚数	1,369枚	848枚	931枚
18	年間パスポート売上枚数内訳 1000円券/600円券	1,053枚/ 316枚	707枚/ 141枚	728枚/ 203枚
19	年間パスポート入園者数 /平均利用回数/割合	3,852人/ 2.81回/ 3.5 %	3,163人/ 3.72 回/ 2.6 %	3,209人/ 3.44回/ 3.0%
	内訳)年間パスポート入園者 1000円券/600円券	2,944人/ 908人	2,804人/ 359人	2,670人/ 539人
20	園HPアクセス数	[26年度からの計算式]436,273件 [25年度までの計算式]134,900件	122,295件	104,347件
21	外国人入園者数	3,539人	2,931人	1,751人
22	園英語HPへのアクセス数	[26年度からの計算式] 16,156件 [25年度までの計算式] 6,042件	6,853件	8,103件
23	市政だより掲載依頼件数(内掲載件数)	127件(25件)	204件(43件)	153件(22件)

No	指定区分	建造物名称	葺材	修理履歴	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度
1	重要文化財	旧伊藤家住宅	茅	S40移、S50屋(部分)、S54部、S62屋(部分・棟)、H3屋(部)、H7屋(部)、H13屋・部、H22屋(部)							葺替	
2	重要文化財	旧佐々木家住宅	茅	S42移、S48屋(部・庇)S55屋(部・棟)・部、S59部、S63屋(部・棟)、H2屋(庇)、H3屋(庇)H6部(不陸補正)、H9屋(部・棟)、H21屋・部								差茅
3	重要文化財	旧江向家住宅	茅	S42移、S48屋(棟)、S51屋(棟・窓屋根)、S54災、S55屋(部)、S56屋(部・窓)、S58屋・部、H5屋(部・棟)、S8屋(窓)、H10屋・部、H21屋(部)	部分 差茅						葺替	
4	重要文化財	旧北村家住宅	茅	S42移、S54災(棟)、S60屋・部、H6屋(部)・部、H11屋(部)、H12屋(部)、H22屋(部)								葺替
5	重要文化財	旧作田家住宅	茅	S43移、S52屋(棟)、S54災、S59屋・部、H6屋(部)・部、H12屋(部)							葺替	
6	重要文化財	旧太田家住宅	茅	S44移、S52(部、棟)、S57屋・部、H3~H4焼損復旧、H8屋(部)、H12屋(部)、H17屋(部)							耐+ 葺替	
7	重要文化財	旧工藤家住宅	茅	S45~S46移、S56屋・部、H3屋(部)、H6屋(谷)、H8屋(谷)、H11屋(部)・H21屋(部)、H23屋 「便所」S45新築、S59屋、H5屋(部)		便所 葺替					差茅	
8	県指定重要文化財	旧三澤家住宅	板	S46移、S51、S55、H4屋、H17屋			耐+部分 葺替	耐				
9	県指定重要文化財	旧山田家住宅	茅	S60移、H5屋(部)、H17屋 「便所」S60新築、H8屋						差茅+ 便所 差茅		
10	県指定重要文化財	旧野原家住宅	茅	S41移、S56屋、H7屋、H17屋(部)、H24屋(部)								
11	県指定重要文化財	旧鈴木家住宅	茅	S45移、S59屋、H4屋(部)、H21屋	耐	部分 差茅						
12	県指定重要文化財	旧広瀬家住宅	茅	S43移、S54、S59、H5屋、H19屋(部)							葺替	
13	県指定重要文化財	旧岩澤家住宅	茅	H1移、H7屋(部)H18屋(部)							部分 葺替	
14	県指定重要文化財	旧菅原家住宅	茅	S58移、H6屋(部)、H14屋(部)、H24屋								
15	県指定重要文化財	旧清宮家住宅	茅	S40移、S48、51屋(部)、S58屋、H5屋(部)、H18屋(部)							葺替	
16	市指定	蚕影山祠堂	茅	S44移、S51S60屋、H6屋(部)							葺替	
17	市指定	水車小屋	茅	S56移、H6屋(部)、H22屋(部)	水車 修理						葺替	
18	市指定	木小屋	杉皮	H5移、H23屋								
19	県指定重要文化財	井岡家住宅	瓦	S61移								
20	県指定重要文化財	山下家住宅	茅	S45移、H8屋、H23屋(部)							耐+ 差茅	
21	市指定	沖永良部の高倉	茅	S44移、H15屋、H22屋(部)							差茅	
22	市指定	船頭小屋	杉皮	S49移築、 S60屋、H12屋、H24屋								
23	市指定	佐地家共待	瓦	S62移、H8部								
24	国重有民	船越の舞台	瓦	S47移、S58屋(部)、H8屋、H10屋(部)、H24屋(部)								
25	市指定	原家	瓦	H2移、H3部、H15部								
				※屋根に係わる修理履歴のみ記載。小規模自費修理除く。屋(部)=屋根部分修理を表わす。屋(部)・部=屋根部分修理とその他の部分修理を表わす。	「耐」は耐震補強工事を表わす。耐震診断の実施及び結果により変更の可能性がある。							

日本民家園民俗部門整備計画

1. 現状

(1)整理・展示

平成15年度(2003)より資料整理・目録作成・企画展示と、3つの作業を連動させて進めている。同時に、民家の旧所蔵者を訪ねて衣食住・生業等について聞き取りを行い、調査報告を目録に合冊して刊行した。さらに、目録作成時の電子データを活用し、資料のデータベース化も進めている。

(2)保存

当園の収蔵庫は所蔵点数に比べて狭く、資料の大多数は古民家の屋根裏等に保管されている。保存環境は良好とはいえないが、改善を重ね、資料を直置きしないよう棚を設け、防塵用のクロスで覆う作業を進めている。また、清掃の委託範囲も屋根裏に広げ、ボランティアとも協同して清浄に保つよう工夫を重ねている。収蔵庫については平成17年度(2005)に酸化プロピレンによる全室燻蒸を行ったあと、新たに収蔵する資料については二酸化炭素ガスにより殺虫処理を行っている。また棚を増設して収容力を高め、同時に耐震補強も行った。

(3)収集

収蔵スペースがないため、現在積極的な収集活動は行っていない。

2. 基本方針

(1)整理・展示

民家を主とし、民具の展示はそこでの生活を知るための補助と位置づける。このため民家内には、その民家の資料を、その資料が本来あるべき位置に展示することを基本とする。旧来の展示(民家を展示スペースととらえたテーマ展示)が混在している棟があるが、企画展示に合わせて整備する。

(2)保存

野外博物館という特性をよく理解し、民家で本来行われていたメンテナンス方法を取り入れながら、資料の保存環境の向上に努める。

(3)収集

川崎市には、地域の資料全般を収集対象とする博物館として市民ミュージアムがある。このため当園は古民家の博物館としての性格を活かし、建築に関わる資料を収集対象とする。

この他、各古民家の展示充実を図るため、旧所蔵者の資料は上記以外のものについても収集対象とする。

3. 今後の計画

(1)整理・展示

引き続き年に2棟(合掌民家を扱う年度は1棟)のペースで、資料整理・目録作成を進め、企画展示を開催する。同時に聞き取りを進め、各家ごとの生活習慣を記録に残す。古民家の旧所蔵者は急速に高齢化が進んでいるため、この業務は優先的に進めていく。

(2)保存

民家の屋根裏に保存されている資料の保存環境を向上させていく。具体的には、直置きされている資料をできるだけコンテナに収めて棚に収納し、清掃しやすい環境を作っていく。

(3)収集

収蔵スペースの都合上積極的な収集活動は行えないが、古民家の旧所蔵者から話があった場合は対応する。また、建築関係の資料については、作業工程を理解する上でまとまりのあるものについては収集していく。

日本民家園民俗部門展示出版計画

年度		タイトル	刊行物
15年度	前期	展示室整備	—
	後期	「芝居の立つ町」—船越の舞台のふるさと—	『日本民家園収蔵品目録1 旧船越の舞台』
16年度	前期	「家の神々」—作田家の守り札—	『日本民家園収蔵品目録2 旧作田家住宅』
	後期	「蚕影山」—養蚕信仰の世界—	『日本民家園収蔵品目録3 船頭小屋・蚕影山祠堂』
17年度	前期	「伊那の薬屋」—信州・三澤家のくらし—	『日本民家園収蔵品目録4 旧三澤家住宅』
	後期	「清宮家」—登戸に生きる—	『日本民家園収蔵品目録5 旧清宮家住宅』
18年度	前期	「山と風」—甲州・広瀬家のくらし—	『日本民家園収蔵品目録6 旧広瀬家住宅』
	後期	「雪に暮らす」—川崎で出会う北国—	『日本民家園収蔵品目録7 旧菅原家住宅』
19年度	前期	「むかしむかしかわさきで」—民家園のはじまり・重文伊藤家住宅—	『日本民家園収蔵品目録8 旧伊藤家住宅』
	後期	「千曲川のほとりで」—佐久の染物屋・佐々木家—	『日本民家園収蔵品目録9 旧佐々木家住宅』
20年度	前期	「川崎の近代和風建築」—旧原家住宅—	『日本民家園収蔵品目録10 旧原家住宅』
	後期	「南部曲屋」—重文・工藤家住宅の暮らし—	『日本民家園収蔵品目録11 旧工藤家住宅』
21年度	前期	「貞享四年」—年号のある民家・重文北村家住宅—	『日本民家園収蔵品目録12 旧北村家住宅』
	後期	「宿場の家」—奥州街道・鈴木家—	『日本民家園収蔵品目録13 旧鈴木家住宅』
22年度	前期	「登戸の左官」	—
	後期	「合掌造り」—野原家の暮らし—	『日本民家園収蔵品目録14 旧野原家住宅』
23年度	前期	「神奈川の村」—愛甲郡清川村・岩澤家—	『日本民家園収蔵品目録15 旧岩澤家住宅』
	後期	「奈良の町屋」—旧井岡家住宅—	『日本民家園収蔵品目録16 旧井岡家住宅』
24年度	前期	「常陸の民家」—旧太田家住宅—	『日本民家園収蔵品目録17 旧太田家住宅』
	後期	「白川の郷」—旧山下家住宅—	『日本民家園収蔵品目録18 旧山下家住宅』
25年度	前期	「建築史家・大岡實の建築」※建築部門で担当	※出版物については資料5参照
	後期	「五箇山」—旧江向家住宅—	『日本民家園収蔵品目録19 旧江向家住宅』
26年度	前期	「大工さんの道具箱」	—
	後期	「ダムに沈んだ村」—旧山田家住宅—	『日本民家園収蔵品目録20 旧山田家住宅』
27年度	前期	「むかし話の道具たち」	解説絵本
	後期	「こどもと民具」	解説図録 『日本民家園収蔵品目録21 別刊 佐地家供待・水車小屋・高倉・木小屋調査報告』

民家園叢書一覧及び計画

日本民家園叢書1	『日本古建築の特質・日本の塔』 関口欣也・濱島正士	平成10年9月
日本民家園叢書2	『日本の仏堂・桂離宮とその文化的背景』 鈴木嘉吉・斎藤英俊	平成13年3月
日本民家園叢書3	『多摩丘陵の農家 1955年細山 ー日本民家園の発端ー』 関口欣也	平成15年3月
日本民家園叢書4	『日本民家園の雪囲い』 監修/上野勝久・野呂瀬正男 編集/大野敏・小坂広志・砂川康子・増淵和夫	平成15年3月
日本民家園叢書5	『土蔵の屋根修理を通してみた茅葺の地域性 川崎市麻生区飯草家土蔵の事例から』 大野敏	平成17年3月
日本民家園叢書6	『日本民家園草創期の記憶 ー旧三澤家住宅・旧工藤家住宅ー』 野呂瀬正男	平成18年3月
日本民家園叢書7	『日本民家園草創期の記憶2 ー沖永良部島の高倉・蚕影山祠堂・旧山下家住宅ー』 野呂瀬正男	平成18年12月
日本民家園叢書8	『日本民家園草創期の記憶3 ー旧鈴木家住宅・旧船越の舞台ー』 野呂瀬正男・田代勉・小坂広志	平成20年3月
日本民家園叢書9	『日本民家園草創期の記憶4 ー旧井岡家住宅・旧佐地家の門侍・水車小屋ー』 野呂瀬正男	平成22年3月
日本民家園叢書10	『民家は何の木で出来ているか』 中尾七重・布谷知夫	平成23年3月
日本民家園叢書11	『日本民家園草創期の記憶5 ー旧菅原家住宅ー』 野呂瀬正男	平成25年3月
日本民家園叢書12	『日本民家園草創期の記憶6 ー旧山田家住宅・園内管理ー』 野呂瀬正男	平成28年3月

大岡文庫関係出版物一覧及び計画

大岡文庫目録	『日本民家園大岡文庫蔵書目録』	平成7年3月
大岡文庫目録	『大岡實博士文庫写真資料目録Ⅰ』	平成10年3月
大岡文庫目録	『大岡實博士文庫写真資料目録Ⅱ 図面資料及び摺拓本資料目録』	平成12年3月
大岡文庫目録	『大岡實博士文庫書類資料目録Ⅰ』	平成14年3月
大岡文庫目録	『大岡實博士文庫書類資料目録Ⅱ(新築設計関連資料)』	平成21年3月
大岡文庫目録	『大岡實博士文庫原稿・調査ノート資料目録Ⅰ』	平成15年3月
大岡展関連出版物	『建築史家・大岡實の建築』	平成25年7月
大岡文庫目録	『大岡實博士文庫原稿・調査ノート資料目録Ⅱ』	平成27年3月
大岡文庫目録	『大岡實博士文庫書類資料目録Ⅱ(大学関連)』	(未定)
大岡文庫目録	『大岡實博士文庫写真資料目録Ⅲ(プリント写真)』	(未定)

日本民家園総合防災整備事業計画

1 目的:文化財建造物を火災の被災から予防又は最小限に防護するため。また大地震時に来園者の安全をはかるため。
 2 理由:
 (1)開園45年を超え、消防施設の著しい老朽化と建造物の位置する高低差等から二件以上の建造物への消火能力に欠けること。
 (2)開園以来、水道配管の取り替え等を行っていないことに伴う老朽化、移築毎の配管の接続等から漏水事故が続いてきていること。
 (3)職員の削減、管理面積の規模等から、旧式の防災設備では消火や入園者の避難誘導等への的確な対応が難しいこと。
 (4)三澤家水車小屋間の園路改修・鈴木家裏崖補強を行なった。
 (5)古民家の耐震性能を検討し必要な場合は耐震補強工事を施す。鈴木家・三澤家・太田家・山下家について基礎診断をした結果、耐震補強が必要である。また、その他の古民家も予備診断の結果必要なものは基礎診断を実施する予定である。
 (6)工事については国または県より補助金が受けられる場合がある。

年 度	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	備考	
防災	水道設備 自火報等	調査・基本設計	実施設計	貯水槽	消火配管	消火配管 監視装置	監視装置 ・自火報	ポンプ設置 自火報	旧消火設備撤去設計	旧消火設備撤去	旧消火設備撤去	
園路・崖改修				三澤水車小屋園路改修		鈴木崖補強工事						
耐震	①＝基礎診断 ②＝設計 ③＝工事			該当棟の予備診断	①鈴木家・三澤家	①太田家・山下家 ②三澤家基本・鈴木家実施	②三澤家耐震委員会 ③鈴木家	②三澤家実施・山下家基本	②太田家基本・山下家実施 ③三澤家	③三澤家・山下家	①菅原家 ②太田家実施	以後、順次実施

展示

★ 年度当初の計画になかったもの

平成26年3月末現在

事業名		日程	会場	内容等
企画展示	「白川の郷」	-5/26	山下家2階	旧山下家住宅をテーマとした展示 展示解説月1回
	「建築史家大岡實の建築」	7/2-11/24		大岡實博士の建築作品と設計活動をテーマとした展示 展示解説月1回
	「五箇山」	1/4-5/25		旧江向家住宅をテーマとした展示 展示解説月1回
常設展示	文化財建造物展示	通年	園内	移築・復原した古民家等25件
	本館展示		本館展示室	民家及び民家の生活に関する展示
	石造物展示		園内	園路沿い 道祖神・庚申塔・馬頭観音等
	民俗資料展示		各古民家	生活用具・農具等
展示事	年中行事展示	毎月	北村・清宮・原	節句雛・田植え祝い・盆棚・小正月飾り等古民家の年中行事を展示
	雪囲い	11/23-3/16	菅原家	雪と寒さを防ぐ雪囲いを再現
工芸館	藍T	4/17-5/28	伝統工芸館	型染め、絞り染めによる藍染めTシャツの展示
	干支	12/4-1/19		講座受講者と工芸館スタッフによる藍染め作品の展示
	★節句	1/22-4/13		
	講座作品	7/24-9/22、9/25-11/30		

教育普及活動

参加人数

民家園講座	300歳の民家	6/8、15	原家・園内	外山明彦(園職員)	11人
	建築史家・大岡實の建築	7/6、13		青柳憲昌(立命館大)、松浦芳夫・松浦隆(大岡建築研究所)、安田徹也(安田工務店)、田村央貴(園職員)	23人
	日本とアジア等の多様な茅葺き	12/1、8		インドネシアとアンコールワット、ウガンダ 日塔和彦(文化財建築技師)	18人
	民家の屋根	2/15、22		大野敏(横浜国大准教授)、渋谷卓男・田村央貴(園職員)	36人
ボランティア講座		1/11、18、25、2/1	原家ほか	新規会員向け、畑山拓登・田村央貴他園職員	21人
体験講座	わら細工	5/12、9/22、12/1、12/22	原家、作田家	ぞうり、わらじ、釜しき、しめ縄(たまかざり) 民具製作技術保存会	56人
	竹細工	4/29、6/9、10/20		六つ目かご、菱四つ目かご、小判型六つ目かご 民具製作技術保存会	70人
	はた織り	6/2・9・16、10/27		裂き織り、綿の実から糸まで(糸紡ぎ) 民具製作技術保存会	25人
	親子体験	8/4、11		あしなな、簡易機で織る小物(裂き織り)(8/4)、ガリガリ(8/11) 民具製作技術保存会	40人
	★大和なでしこ入門講座	2/2、3/2・16	原家	着付け(着楽屋)・香道(お香の会)・茶道(静楽会)	98人
藍染	しぼり染め	4/20・21、10/26・27、2/22・23	伝統工芸館	初級(2回連続×2回)、中級(2回連続)	30人
	型染め	7/20・21、9/21・22、11/30・12/1		初級、中級、干支(各2回連続)	54人
特別公開	夜の民家園	4/20・21、10/5・6、★3/29・30	宿場・信越	昔話、夜なべ仕事、昔の明かり体験、暗がり探検 炉端の会・民具製作技術保存会	851人
	旧船越の舞台	9/13-10/14の土日祝	船越の舞台	国指定重要有形民俗文化財の内部公開 炉端の会	1,282人
民家園まつり	無料開園	11/3	全園		4,880人
	農村歌舞伎	11/3	船越の舞台	秋川歌舞伎あきるの座(東京都無形文化財)	266人
	むかし遊び	11/3	太田家他	民具着用体験・輪投げ・竹馬・竹ポクリ・機織りなど 民具製作技術保存会	630人
	民技会作品展示・頒布会	10/6-11/17	太田、原	頒布会は日祝のみ 民具製作技術保存会	頒布会13回
	伝統技術実演	11/2・3	佐々木家他	堂宮彫刻、彫金、市松人形、水引細工など 伝統技術技法を保存継承する会ほか	—
芸能	人形浄瑠璃	9/22	工藤家	相模人形芝居下中座(国指定重要無形民俗文化財)	221人
	★岩手の郷土芸能	3/9	佐々木家	中野七頭舞愛好会・大森御神楽愛好会 震災復興支援物産展同時開催	627人

緑地	生田緑地サマーミュージアム	8/4	緑地全体	納涼民家園(打ち水・井戸汲み・水鉄砲・洗濯板で洗濯・氷ブロック設置・蚊帳・民家でごろ寝・風鈴展示・むかし話)、フロンターレ共催親子体験(お香作り、藍染め) 浴衣・甚平で入園無料 炉端の会、民具製作技術保存会、永松堂	810人 (民家園のみ)
	多摩区民祭	10/19	緑地全体	無料開園日 骨董市 (旧所在地交流事業同時開催)	4,774人
催し物	むかし話	奇数月2回、偶数月3回	作田家ほか	おはなし万華鏡、みちのくむかし語り、大平悦子、日本民話の会	1099人
	お茶会	4/28,5/3・6,10/13,11/17	佐々木家	川崎市茶華道協会、静楽会	623人
	おと絵がたり	5/12	佐々木家	おと絵がたりの会	156人
	むかし遊び	5/3・4・5	作田家ほか	民具着用体験・輪投げ・竹馬・竹ポックリ・折り紙・お手玉等 民具製作技術保存会	908人
	邦楽	4/20,5/5、★3/29	佐々木家、作田家	箏・チェロ・ギター、和太鼓、箏・ギター・フルート 中島りん・元気組ほか	426人
	お茶作り実演	5/10	岩澤家	炉端の会	28人
	お蚕さまの絹糸	7/7	野原家	座繰り実演、ずりだし体験 民具製作技術保存会	164人
	小正月モノヅクリ	1/12	北村家	ケズリカケ等の飾り製作実演とまゆ玉団子飾り体験 民具製作技術保存会	130人
	お月見をしよう	9/14	北村家、科学館	月見団子作り・石臼・里芋収穫・団子盗み体験、科学館ではプラネタリウムと月の観察 炉端の会ほか	83人
	旧所在地交流事業	5/19,10/19,20	ビジターセンター他	白川郷記録映像上映会、五箇山民俗芸能公演と物産販売 南砺市観光協会ほか	625人
	実演大工仕事、大工入門	10/27	作田家	昔の大工仕事実演と、大工仕事の体験 神奈川土建川崎多摩支部他	106人
	お正月を遊ぶ	1/4	作田家他	正月遊び、餅つき、獅子舞、むかし話、各地の注連飾り展示 着物で入園無料 三吉野、大戸神社祭囃子保存会、炉端の会、民具製作技術保存会	954人
	★ベーゴマ大会	1/5	広瀬家	参加者を募集し、入賞者にはオリジナルベーゴマプレゼント 宮田守	51人
	文化財防火デー関連事業	1/26	ビジターセンター・太田家	太田家焼損小屋公開と焼損復旧工事映像上映	45人
★古民家カフェ	11/9・10・23・24・30,12/1	原家	古民家の座敷を利用したカフェ 民カフェ「さら」(江中洋子・伸治)	587人	
ガイド	民家解説	年10回	園内	1時間で1つの村を案内 建築職員	201人
	園内ガイド	通年	園内	土・日・祝は午前と午後、平日は午後 炉端の会	1678人
	団体ガイド	年間	園内	団体の希望に応じ園内をガイド(日本語・英語) 炉端の会	2538人
床上公開	毎日	3-5棟	囲炉裏に火を入れ、床上部分を来訪者に公開・解説 炉端の会	118,055人	
民具製作実演	不定期日曜(紙すき土日)	園内	わら・竹細工、機織り、紙すき 民具製作技術保存会、柄戸忠二	229回	
民技会40周年記念講演会	8/4,10/6,11/10	8/4科学館 10/6,11/10ビジターセンター	真家生(大妻女子大博物館教授)、田中宣一(成城大名誉教授)、柳平則子(元相川郷土博物館館長)	168人	
学校体験学習	年間	園内	大八車・井戸汲み・石臼・天秤棒・背負子の体験 園職員	74校	
学校見学(体験学習なし)	年間	園内		102校	
博物館実習	5月-1月	園内	5回、各10日間	23人	

調査研究・広報・施設管理

研 究 査	移築民家旧所在地調査	江向家、水車小屋、木小屋
	収蔵資料整理	山下家・江向家・山田家の関係資料、大岡資料(建築)
	刊行物	『収蔵品目録19 旧江向家住宅』・展示図録『建築史家大岡實の建築』
広 報	印刷物	民家園だより、催し物カレンダー、学校向け優待券、ポスター、各種チラシ
維 施 持 設	古民家等保存修理工事	屋根/江向、水車/水車小屋、雨漏り応急処置、壁・建具・敷居・土間三和土などの補修
	園内整備	総合防災(自火報他)、耐震(補強工事/鈴木、設計/三澤、耐震方針検討)、植栽整備、倒木・危険木伐採、園路補修、案内板補修・作成等